

資源循環を目指したダム底泥の有効利用 -好酸性植物の栽培土としての可能性-

(講師・河内香織, k-kochi@kindai.ac.jp)

Research Area

1. 底泥の特性把握のための研究：飲料水に利用される安全性の高いダムでの採泥を行い底泥の特徴について物理的、化学的、生物学的な側面から検討を行う。
2. ダム底泥を使用した植物栽培と収穫物の安全性や味覚に関する研究：圃場を作りブルーベリーの地植えを行って栽培継続中である。栄養学的な視点を持ちつつ果実の収量や成分の分析を行う。
3. 底泥を用いた栽培が可能な植物探究に関する研究：好酸性の植物には、ブルーベリーのほかに、茶、クリなどが挙げられる。これらの植物への応用について検討する。
4. 底泥を用いた植物栽培と経済コストの研究



Recent Activities

- 河内香織・川崎彩花・独立行政法人水資源機構 「ダム底泥を利用したブルーベリー栽培の可能性」建設技術展2016近畿 マイドーム大阪, 2016
- 川崎彩花・来栖敏浩・河内香織 「ダム底泥を用いて栽培したブルーベリーの根系における菌根菌共生率」日本園芸学会 春季大会 東京農業大学農学部 厚木キャンパス, 2016
- 川崎彩花・尾崎崇晃・河野敬子・河内香織 「浚渫土を利用したブルーベリー栽培の可能性と課題」日本園芸学会 春季大会 千葉大学, 2015